

星屑

壽

2014年 1月号

No. 466



ラブジョイ彗星 C/2013 R1
2013/12/08 5:31-5:57 1m*22
ε-180ED KissX3改

ラブジョイ彗星

2013年12月8日撮影

タカハシε-180ED キヤノンKissX3改
5:31-5:57 1分露出を22枚コンポジット
熊本市南区城南町塚原の自宅屋上

熊本県民天文台

11/24(日) YMCA学院高等学校

天文講座と秋の星空観察会

アイソン彗星の話題を解説

県空のペットボトルを使って撮影練習し、月の撮影に挑戦

今年もメールで打ち合わせ

YMCA学院高等学校くまもと教育センターの福山と申します。

昨年度もお世話になりましたが、今回も高等学校の授業の実習で天文台の見学と天体に関するお話をお願いいいたします。

日程、内容等については以下のとあります。ご検討いただきますようお願いいいたします。まだ、晴天の星空を生徒たちに見せられていないので今年こそは!と思っているところです。(あ天気任せではありますガ・・・)

希望日時：2012年11月24日（日） 18：30～20：15

参加人数：高校生11名 引率2名

見学内容：

- ①冬の星座や惑星についての説明（冬の天体イベントの情報）
- ②天体観察の仕方（手軽な方法）
- ③実際の天体観察

主催者：YMCA学院高等学校くまもと教育センター（通信制の高等学校です）

YMCA学院高等学校 福山 さま

11/24（日）、「天文学講座と星の観察」、お申し込みありがとうございます。

開催日と開催時間帯について、了解致しました。

☆☆☆ その日見えるもの

金星、天王星、海王星、夏の大三角、はくちょう座のX-1、秋の星座、

アンドロメダ銀河(大星雲)など

※ 冬の星座は、すばるとあうし座は大丈夫ですが、オリオン座は20時30分頃にようやくその全景が地平線上に出る程度です。低空ですので、大気の透明度が悪いと、見えにくいかも知れません。（この時期、中国からのPM2.5が心配です）

※ ちょうどISON（アイソン）彗星が太陽に最接近する直前です。

彗星が明るくなりそうなら、12月に、彗星がどんな見え方をしそうか、解説できると思います。

当日、16時頃にもメールが

本日はよろしくお願ひいたします。
また、天気が下り坂のようですね・・・。
彗星のお話はいいタイミングかと思いますのでよろしくお願ひいたします。
本日は、熊本市内を17：15分ころ出発予定です。中心部を通っていきますので
18：00過ぎには少し早いですが到着する予定です。
よろしくお願ひいたします。

その頃、私は

解説用の電子紙芝居を手直ししたり、お土産写真を準備したりするので精一杯。メールをチェックする余裕がありませんでした。だって、この日はお天気が悪くて、「星が見える」ことが期待できそうにありません。メールが届いた頃は、解説の内容を補強してあこうと必死になっていたのです。

17時前によくやくその作業が済んで、それから、夕食用のおにぎり弁当を持って、17時過ぎには天文台に到着。まず、1階のミーティングルームを片付けして、掃除をしました。あちこちに置いてある機材を片付け、テーブル（こたつ）も撤去して、大人20人程度がゆったり座れるスペースを確保しておかねばなりませんでしたから。

それから、階段や2階観測室を掃除。10月末の「火の君祭り」の時に、相当綺麗にしておいたはずなのですが、隅々にはもうゴミが溜まっていました。・・・ふう・・・！

あとは、食事をしてから

「まだ18時前、開始時刻の18時30分までには余裕がある・・・」、そう思っておにぎりをほおぱり、慌ただしく食事をしました。食事のあとに、パソコンやプロジェクターの設置と調整をして、「準備完了」になるはずでしたからね。

ところが、おにぎりの最後の1個を食べ終わったちょうどその時、玄関のドアが開いて、人声が聞こえてきました。「えっ!? まだ18時だよ??」そう思ったのですが、YMCA学院さんが早めに到着したのだと、すぐに分かりました。

プロジェクターを準備

一行は1階のミーティングルームに集合、少しの間そのまま待機してもらって、その間にパソコンとプロジェクターの準備を済ませました。それから開会を宣言、すぐに2階の観測室へ移動して頂きました。

観測室ではスライディングルーフ式の屋根のことや望遠鏡の仕組みなどを解説、実際に望遠鏡を動かしたり、筒先と接眼部の両方からそれぞれのぞき込んでもらったりしたら、これが大受けして、次々と質問が飛びだしてきました。今年の参加者は例年とは違って、かなり活発みたいだ、そう感じました。質問が次々にたくさん出てくるので、雰囲気は和らぎ進行も楽です。たくさんの質問に答えながら、30分あまり観測室で解説をしていたと思います。

「でも、賑やかなのは良いけど、このままでは空中戦で終わってしまうなあ」そう考えて、観測室での質疑応答を収束、1階のミーティングルームへ移動するよう促しました。



アイソン彗星の話題にも

電子紙芝居では、

- 1) 今夜見えるはずだった星空と天体
- 2) アイソン彗星のこと

などを解説。リクエストがあったので星空クイズにも挑戦してもらいました。

ここでもたくさんの質問が出て、それぞれに答えて解説をしていたら、あつという間に予定していた2時間が過ぎてしまいました。そこでみんなで記念撮影して、お開きにしました。

最後に「ラブジョイ彗星の写真」をお土産としてプレゼント。参加した生徒さん達、彗星のコマの青い色がとても印象的だったようで、しばし感動の声が上がっていました。そして、それぞれが500円の募金をしてくれました。毎年そうなのですが、これには感謝!です。

11/29(金) 城南公民館講座

秋の星空観察会

ちょうど、アイソン彗星が近日点を通過する日

午前中に、NASAは「彗星が蒸発した！」と発表

アイソンとラフジョイと、彗星のお土産写真が大人気！でした

なぜか運が良い？

一日中微妙なお天気、夕方からは一面に雲が広がり18時頃に雨が降るという悪条件でした。しかし、その後雲のスキマができる時間帯があって、19時半から21時過ぎまで、予定通り「金星と星空の観察」ができました。19時頃には次々と数家族が到着されましたから、そのまま観測室に上がってもらい、金星を観察して頂きました。大半の参加者が早めに観察を済ませていたので、少し遅れて到着された方々も沈む直前の金星を観察することができました。

「公民館講座での星の観察会」ですが、生の星空観察ですからね、「せっかくのチャンス、しっかり金星を見てね！」と、臨機応変な対応をしたのが良かったようです。

ナマの星空も、望遠鏡でも

この日の参加者は、全部で12組・30名。それに公民館のスタッフ2名と、熊日からの取材スタッフ2名、でした。運営担当は、艶島と西嶋の2名。数日前には、「39名の申込があるので、観測室や1階のミーティングルームに入りきれるのか、心配です！」と電話を頂いたほど、いつも以上の人気。これは、たぶんアイソン彗星についてのマスコミの報道のせいかもしれません。

「参加者が溢れたら、1階での解説と、2階での観察と、二組に分けましょう」「お天気が悪いときは欠席する家族もあるでしょうから、何とかなりますよ」と公民館の担当者さんを説得していたのですが、予想通りの展開だったとも言えますね。観測室は開始時刻頃には交通整理が必要なほど賑わいました。

熊日の取材スタッフも

観測室が賑わったのにはもう一つの理由がありました。ちょうどこの日、熊日新聞の記者さんとカメラマンさんと、2名が来台されていたのです。彼らは、観察会の様子を「バシバシツ！」と撮影、「済みませーん！」と声を掛けながら、フラッシュを焚いての撮影が続きました。私も、「私の指名手配記事を載せるんだそうです。ご迷惑をおかけしますが、もしかしたら皆さんも一緒に紙面に載るかも知れません、その時はよろしくお願ひします。掲載しちゃダメって言う人は教えて下さいね」などと、記者さん達に変わって肖像権の使用許諾を求めなきやあいけないほど。いつもとは違って、なかなかに忙しい「星の観察会」でした。

しっかり観察

望遠鏡では金星・フォーマルハウト・ヴェガ・カペラを観察。眼視では星空を見上げながら、夏の大三角・カシオペア座・ペガスス座・アンドロメダ座を説明。スライディングルーフや望遠鏡の仕組みも解説しました。解説をしているといろんな質問が出てきます。この日は、子供達からだけではなく大人の人からも熱心な質問が出てきました。そこで、出てくる質問に答え、いろいろ解説を展開しました。

時々、「どうして、そんな質問を思いつきましたか？」なんて具合に逆に質問をしたら、結構面白い答えが返ってきました。それで、「なるほど、面白いところに気がつきましたね」とか、「そうか、学校ではそんな教え方をしているから、疑問が湧いたのかあ？」などと、質問者との交流を深めながら、たっぷりと解説を楽しんだわけです。

そうやっているうちにもシンシンと冷えてきました・・・。

たっぷり解説

雲も少し広がったし、ちょうど良い頃かな？ そう判断して1階へ移動。最後の40分間は、ミーティングルームで大画面を使って「アイソン彗星」についての解説を行いました。



期待されていたアイソン彗星ですが、この日の朝、「彗星は太陽に近づいて蒸発してしまった！」とNSASAが発表していましたからね、皆さん「それってどういうこと？」と、大いに興味を持っていたようです。

ですから、電子紙芝居で「宇宙空間を飛び回る汚れた雪だるま」の解説を見たり、たくさんの彗星の画像

を見たときに「なるほど、そうだったのか！」と、納得しやすかったのでしょうか。

お土産写真は、アイソン彗星とラブジョイ彗星の写真を各1枚ずつ（2枚セット）の特別版でしたから、これには大きな歓声が上がりました。雲が多くて、寒さも厳しかったのに、欠席者が少なく、しかも皆さんとても熱心でした。

※ 取材があつた熊日の記事は、12月7日（土曜日）の夕刊に掲載されるようです。

11/5（月）に「アイソン彗星明るくなりそうですね、取材したいのですが・・・」とメールをもらったので、「せっかくあいでになるのなら、明日の夜明け前にアイソン彗星を撮影してあきましょう」と返信したら、「私も見たい！4時頃伺います」とのこと。あれまあ！です。そんなつもりじゃなかったのだけど、凍てつく寒さの中でアイソン彗星の撮影と観察を「体験」して頂きました。その後、11/29（金）の「城南公民間講座」の時に取材の続きと撮影することになって、記事は、12月7日（土）の夕刊に掲載されました。天文台、賑わうかな？

新聞定額1ヶ月 七二十版一朝夕刊2,334円(本体価格1,204円、消費税160円)、1週丸印(税込2,600円)



星空の観察に訪れた人たちに宇宙の様子を分かりやすく説明する醍醐さん

星裏との出会いは、長崎での小学生時代、地元の大学生が夜の校庭を並べ、土星や火星を見させてくれた。一度見たら後、行列に何度も並び直して見たものです。

■ ■ ■

地球や宇宙の成り立ちを知りたいと、高校では地学部で所属、大学では地質学を専攻したが、関心はやがて星空に向かった。出入りしていた天文学会の研究室に望遠鏡を見せて、喜ばれたアルパルバイト先のブライタリウムでも解説係を務め、「分かりやすい」とほめられた。人になつてもこんな活動を続けたいと思った。

大學は中退、長崎に戻って

11月のある日の未明、アイソン彗星の写真撮影に取り組む鮑島さんに会うため県民天文台を訪れた。防寒が不十分で、途中から何度も「帰りたい」と思っていた時、頭上を流れ星がきらりと輝いた。流れ星を自分の目で見るのは初めて

■ 記者ひとこと ■

てで、今でも目に焼き付いている。鷗島さんが、皆既日食を見るためメキシコまで行ったと聞いた時にはちょっとあきされたけれど、こんな感動が次の行動へと駆り立てるのだろうと納得した。

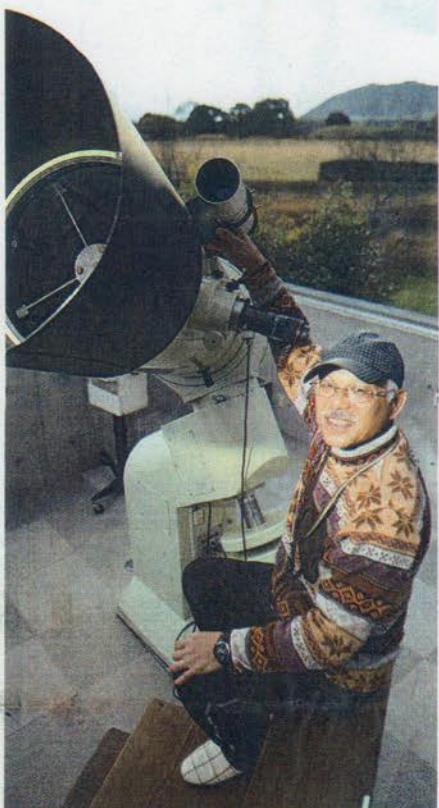
(山口尚久)

い、その瞬間を楽しんでいい。星空を見れば宇宙觀やく生體が変わります

県民天文台長 艶島 敬昭さん(64)

口径41mm、焦点距離2,460mmの反射望遠鏡の傍らに立つ県民天文台長の鮑島敬昭さん＝熊本市南区城南町の四天文台（小野宏明）

星空の魅力平易に伝える



◆つやしま・たかあき 1949年、長崎県・五島生まれ。広島大学学部中退。県民天文台がオープンした翌年の83年に副台長、95年に台長就任。ガソリンスタンド勤務、住宅会社の営業などを経て、熊本市城南町の自宅でコンピューターネットワークのコンサルタントや保守業務を務める。天文台から「東洋のハート」(著者著)。

ともあります。悪魔の脅威を、
平易に伝える活動を続けて
いたら、専門家負けの仕事
も依頼されるようになった。
■ 2006-07年、金剛紙の
改版の出版に向けて書き直

★★★ これからのスケジュール ★★★

12/7(土) 天文台の大掃除とトークアバウト

☆☆☆ 翌早朝、アイソン彗星観望会 ☆☆☆

12/22(日) 日南市教委 「冬の星座観察会」

☆☆☆ 19:00～ 県民天文台で開催 ☆☆☆

1/12(日)・13(月)
天体画像教育利用ワークショップ

☆☆☆ 国立天文台で開催 ☆☆☆

1/22(水) 山鹿市生涯大学「星と宇宙」

☆☆☆ 13:30～ 山鹿市 鹿北市民センターで開催 ☆☆☆

2/28(金) 城南公民館講座 「冬の星空観察会」

☆☆☆ 19:30～ 県民天文台で開催 ☆☆☆

5/11(日) 県民天文台縦会

☆☆☆ 10:00～ 火の君文化センターで開催（予定）☆☆☆

夏から秋、星の観察会や天文講座の依頼が入りそう

10/18(土) 熊本県環境センター「星の観察会」

☆☆☆ 水俣市の熊本県環境センターで開催 ☆☆☆

10/26(金) 城南公民館講座 「秋の星座観察会」

☆☆☆ 19:30～ 県民天文台で開催 ☆☆☆

☆☆☆ ちょっと一眼

Poem & Illustration

いよいよ本格的な冬。今年も残すところわずかです。

期待していたアイソン彗星ですが…残念でしたね。11月の末にとりあえずコンデジでも写ってはくれたのですが、ここに出すほどの画像ではありませんでした。

ま、気を取り直して、新年に備えましょう。2013年は、パンスターズ、アイソンと、彗星情報に一喜一憂の一年でした。そうそう、ロケット打ち上げ情報にも一喜一憂でしたね。2014年はどんな年になってくれるでしょうか。せめて1月は、透明感のある冬の星空と見ごろを迎える木星＆金星を楽しめたらいいんですが。



寓話

夕日が
さよなら とも またあした とも 言わずに
姿を消した 夕暮れ
冷え切ったカメラの中に 紅葉と 黄葉を入れて
カサカサと炒り煮にしてみたが
やはり ちょっと苦いので
猫に相談してみる

だめだねえ
暖かさが足りないもの

ストーブの前で ペロリと舌を出し
隣の頭をなめながら ハルが言う
いつだって 暖かいが正義 団子は必然

天驅けていたペガススは 凍えた翼をたたんで
前足を グン と 跳つた

(くしゃみですか 誰かがうわさをしてますね)

鼻面のあたりは真っ白だ
どうやら
凍りついた地上に捕らわれて しまった らしい



By Dio

2013年11月の県民天文台

～運営日誌より～

開台率 11日／14日=78. 57%

総開台日数 13日

一般来台者数 81名

会員来台数 34名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
1日 (金)	くもり	西嶋 小林J	0人	雲だらけでしたが、薄雲越しに夏の大三角形が見えていたので、とりあえず来ましたが、結局お客様0でした。21時になったので、さっさと縮めて帰ります。
6日 (水)	晴れ	艶島	1人 (熊日 記者)	午前4時半来台。アイソン彗星を撮影している様子など取材。41cmでアイソンを見て感動されたようです。12cm双眼ではとてもショボかったです。空気の透明度が悪いです。
8日 (金)	晴れ	西嶋 高田 小林J 艶島	4人	月、ベガ、アルビレオ、WW、M36,M37,M38、天王星
		中島 高田		ラブジョイ彗星撮影
9日 (土)	くもり	中島 高田、西嶋 小林J 島浦	0人	くもりでした。 トークアバウト 星屑発送など
10日 (日)	雨のち 晴れ	艶島	0人	19時には晴れて半月と星が見えたので来台。月の写真撮影をしていたが、どなたもいらっしゃらないので21時で終了
13日 (水)	快晴	艶島 小林J	0人	ラブジョイ彗星を撮影 午前5時頃東の低空に雲が！→アイソンは撮影せずに終了。
15日 (金)	晴れ	小林J 西嶋 高田	0人	晴れていたけどお客様なしでした。

日付	天気	担当運営	来台数	記事
16日 (土)	晴れ／くもり	高田 西嶋 島浦	5人	月、ベガ、アルビレオ、M57,スバル 夕方快晴だったのですが、暗くなってから雲がわいてきました。1つぱんのお客様は初めてのファミリー4人と常連さん1人。月の他はほとんど見えませんでしたが楽しんでいただけたようです。
22日 (金)	快晴	高田、小林J 艶島 島浦 高田	10人	金星、天王星、海王星、ベガ、アルタイル、フォーマルハウト、リゲル、木星、M42,M36,37,38 朝、ラブジョイ彗星・アイソン彗星撮影
23日 (土)	快晴	中島 小林J	8人	金星、M57,アルビレオ、アルタイルなど 小さい子どもが多くて早く帰られました。
24日 (日)	くもり	艶島小林M	YMCA 11人+ 2人 4人	どんぐもりのため電子紙芝居。 最後に全員で記念撮影をされました。
29日 (金)	くもり 時々晴 れ間	西嶋 艶島	34人	城南公民館講座（30人+2人）熊日新聞2人 金星、フォーマルハウト、ベガ、カペラ 電子紙芝居でアイソン彗星を解説 質疑多數でした。
30日 (土)	くもり 時々晴 れ	中島 島浦	2人	「アイソン彗星残念でしたね！」とわざわざい いに来てくれました。また来ますとのことでした。

アイソン彗星は残念な結果となりましたが、それなりに楽しめましたね。特に13日以降の変化が大きくて、写真の撮り甲斐がありました。それ以上に楽しめたのが、ラブジョイ彗星でした。アイソンの抜けた穴を立派に埋めてくれました。これから、しばらくは楽しめそうです。私個人としては、いろいろと機材整備等で課題が見つかった彗星騒ぎでした。パンスターズ彗星から始まった今年の彗星騒ぎも、これでしばらくはお休みになるのでしょうか。

太陽から戻って大彗星に！ とはならなかったアイソン彗星ですが、皆様は如何でしたか？ 私は11月末は、4時起きして頑張ったですよ。お陰で私も見て、撮れての大満足となりました。夜明け前から出勤して、近くの田園でゴソゴソ頑張った甲斐がありました。あと半月、残り少なくなったが、今年一年本当に有難う御座いました。
皆様にとって、来年も良い年になりますように。 <(_ _)>

☆ 1月の天文現象＆行事☆

- 1日（水） 元旦 （熊本での初日の出は、07:20頃です）
火星が西短（14:30 0.8等、視直径06.9") 新月（20：14）
- 3日（金） 4日にかけてしぶんぎ座流星群が見られる
- 4日（土） しぶんぎ座流星群が極大（04:00～）
地球が近日点通過（20:59 147104780km）
- 5日（日） 小寒（しょうかん…寒冷一段と厳しくなる。俗に「寒の入り」）
- 6日（月） 木星がふたご座で衝（06:31 -2.7等、視直径46.8")
- 7日（火） うみへび座R星が極大（3.5～10.9 周期380日）
- 8日（水） 上弦（12：39）
- 11日（土） 金星が内合（09:55 -4.0等 視直径62.7")
トークアバウト（20:00～ 天文台にて 変更の場合もあります）
- 16日（木） 満月（13：52）
- 20日（月） 大寒（だいかん…寒さは極限。 寒の入り（小寒）から数えて16日目ごろ）
- 24日（金） 下弦（14：19）
- 31日（金） 新月（06：39）
水星が東方最大離角（18:58 -0.6等、視直径07.0")

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2013年1月号 通巻466号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

マーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで